

主な年中行事

- 6月1日 宗祖夏衣更衣会と朝粥会（朝6時）
- 7月16日 孟蘭盆会施餓鬼会
- 10月1日 宗祖冬衣更衣会と朝粥会（朝7時）
- 11月12日 宗祖御会式
- 11月23日 おこやっさん（子安地藏尊大祭）
- 11月24日 おこやっさん（子安地藏尊大祭）
- 12月31日 大晦日・除夜の鐘

安産祈願の底抜け柄杓



御開帳及び祭典日以外の安産祈願・お礼参り・子授け祈願・御首題・朱印の受付は庫裏にて行っています。安産祈願・お礼参り（榮育祈願）等の御祈祷をお希望の方は、事前にご予約をお願い致します。



立正寺寺子屋（夏休み）



お寺ヨガ（随時開催）
f 休息の森 お寺ヨガ



おこやっさん（子安地藏尊大祭）

おこやっさん（子安地藏尊大祭）



今から約1300年前、行基菩薩が御親刻されたといわれる子安地藏尊。地元では『おこやっさん』と呼ばれ、11月23、24日の大祭には安産祈願の底抜け柄杓（そこぬけひしゃく）を求める妊産婦、安産成就の御礼参り、子授け祈願・子孫繁栄・家内安全・五穀豊穰等を願う多くの参詣者で賑わいます。晩秋の映東地区を代表する祭りとして、最盛期には100件近い露店が連なりました。現在も23日夜は多くの出店があり稚児行列・竹灯籠・大法要など煌びやかに祭典が奉行されます。

寺宝と文化財

- 日蓮聖人御真蹟大曼荼羅御本尊・壽量品・方便品・消息断片（宗宝）
- 祖師堂・日蓮聖人感得二十番神像絵画（甲州市指定文化財）
- 日蓮聖人古画像・録内御書・身延山歴代法主御本尊・傳教大師写経断片等（准宗宝）
- 立正寺山伏筭立正寺箱笈（山梨県指定文化財）

日蓮宗 休息山立正寺

〒409-1304 山梨県甲州市勝沼町休息 1713

TEL 0553-44-0462 FAX 0553-20-4652  

<http://www1a.biglobe.ne.jp/kyuusokuzan/>

JR中央本線 塩山駅より車10分 中央自動車道 勝沼ICより10分 葡萄工房ワイングラス館裏 駐車場あり

境内地1万900坪。平地でこの大きさの自然が残っているところは、東山梨地域では山梨市の万カ谷園に次ぐ大きさです。



休息山立正寺

日蓮聖人御休息・立正安國論御談義の霊場



日蓮宗総本山身延山久遠寺の御膝下、山梨県甲州市勝沼町休息。ぶどう、もも、そしてワインは日本一の生産を誇るフルーツ王国山梨に、休息山立正寺はあります。

ここ『休息』という地名は鎌倉時代（今から750年前）、日蓮聖人がこの地に休息した故事に由来します。この地において日蓮聖人は「国は正しい教え（法華経）によって、万人が幸せに暮らすことが出来る」という内容の『立正安国論』を論じました。

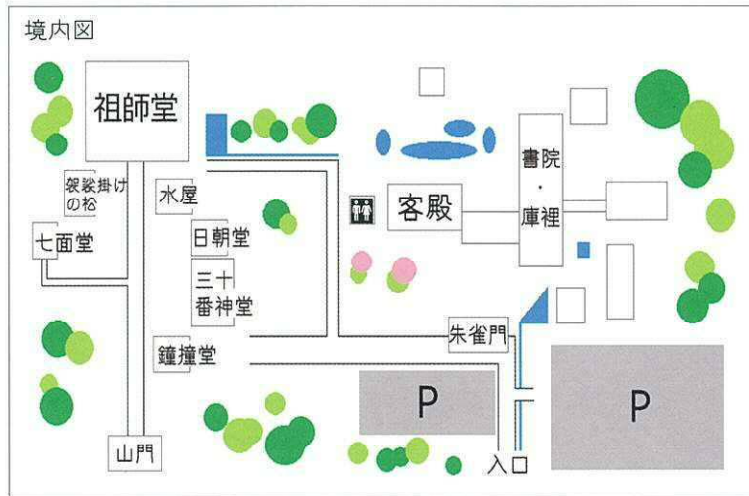
お寺の始まりは大宝年間（698年）僧・行基によって創建され、鎌倉時代の文永年間、金剛山胎蔵寺・辻之坊有範阿闍梨（つじのぼうゆうはんあじやり）というお坊さんは日蓮聖人の説く『立正安国論』を聞き感銘心服し、聖人の弟子となって、名を日乗、寺名を立正寺としました。以来、法華の道場（南無妙法蓮華経）として今日に至ります。

七面堂



法華経を信仰する人の守護神で、七面大明神をお祀りしているお堂です。戦前は三間四方のお堂でした。

山門



山門の山額は、『兜厳魁刹』（とがんかいさつ）と読み、水戸光圀によって揮毫（きごう）されたと言われています。兜厳（とがん）については以下の2つの意味が伝わります。

(1) 兜厳 --- 甲州地方、又は東山梨を表す地名

(2) 兜…お侍さんがかぶる兜、権力の象徴

厳…兜より厳しい。権力より上に行く（どんな権力にも屈しない）という日蓮聖人の布教精神

魁刹（かいさつ）--- 最初に建立された、先駆け（魁）のお寺（刹）古いお寺という意味

袈裟掛けの松

日蓮聖人御休息の折、この松に袈裟をお掛けになったと伝わっています。祖師袈裟掛松として江戸時代には江戸講中（東京の信者）により保護された歴史もあります。



祖師堂

江戸時代寛文年間に造営された大堂。当山第二世中老僧日法上人御親刻の日蓮大聖人、左に子安地藏尊、右に鬼子母神を勧請しています。子安地藏は地元では『おこやっさん』と親しまれ、現在も安産・子育て・子授、家内安全等の信仰に参詣が絶えません。



日朝堂



身延山22世 行学院日朝上人をお祀りするお堂。38歳の若さで身延山の頂点の法主（ほつす）に座し、身延西谷のお堂を東谷に大きく切り開き、今日の身延山の原型をお作りになりました。修行と学問に打ち込んだ結果失明しましたが、それに屈することなく行学に励み、その信行の功德によって再び眼が見えるようになったそうです。江戸時代より『日朝さん』と親しまれ、眼病と学問の神様として信仰されています。

三十番神堂



1カ月を30日とし、日毎に交代して御守護頂く30の神様をお祀りしているお堂です。その信仰は比叡山天台宗に始まり、日蓮聖人は比叡山修行の折、横川にて感得されたと言われています。当山にはその三十番神の古絵画も伝わっています。御厨子の彫刻も見事です。

朱雀門・客殿・庫裡

山門を黒門、この朱雀門を赤門と呼んでいますが、古い境内図には「朱雀門」と記載されています。客殿・庫裏は江戸時代の慶長年間（1596-1615）に建立と寺記に記されています。



鐘撞堂

